

- 問1 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. オランダ人                      2. イギリス人                      3. ポルトガル人                      4. スペイン人
- 問2 16世紀、カトリック教会の一部門として結成されたイエズス会が、日本をはじめとするアジアや南米への布教活動を積極的に行った背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため                      2. ルネサンスの影響で科学技術が発達し、キリスト教以外の新しい宗教を広める必要があったため                      3. 十字軍の遠征が失敗したため、軍事力ではなく信仰によって聖地を奪還しようとしたため                      4. プロテスタントの教えを世界中に広めることで、教皇の権威をさらに高めようとしたため
- 問3 戦国時代の社会や法律について説明した文章として、「朝倉氏が城の建築を制限する規定を設けたことや、武田氏が喧嘩両成敗の原則を定めたことなど、大名が独自に定めた規定が存在した」という記述があります。この記述の説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. これは室町幕府が守護大名の権力を強めるために制定した建武式目に関する記述である。                      2. これは鎌倉幕府が御家人同士の土地の紛争を裁くために制定した御成敗式目に関する記述である。                      3. これは下剋上の風潮のもとで戦国大名が定めた分国法に関する記述である。                      4. これは江戸幕府が成立した直後に各大名を統制するために出された武家諸法度に関する記述である。
- 問4 越前国（現在の福井県）を支配した朝倉氏の法には、本拠地である朝倉館のほかに国内に城を構えることを禁じ、有力な家臣を一乗谷に移住させるよう命じた規定があります。戦国大名がこのような定めに代表される「分国法」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 一乗谷を商業の中心地とし、家臣に農業ではなく外国との貿易に専念させるため。                      2. 村々に代官を置くことで、農民から直接税を徴収する太閤検地の予備調査を行うため。                      3. 幕府が定めた武家諸法度を遵守させ、将軍への忠誠心を高めるための準備を行うため。                      4. 家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。
- 問5 15世紀に発生した応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したことで、家臣が主君を倒したり、地方の武士が守護大名を追放したりして実権を握る事例が全国で見られるようになりました。このように、実力のある者が上の身分の者の地位を奪う社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 下剋上                      2. 尊王攘夷                      3. 一揆                      4. 版籍奉還
- 問6 戦国大名が制定した「分国法」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 明治政府が近代的な国家を樹立するために、国民の権利と義務を定めた。                      2. 領国を独自に統治するため、家臣同士の喧嘩を両者とも処罰する規定などを盛り込んだ。                      3. 江戸幕府が全国の名を統制するために、城の修理を制限することなどを目的とした。                      4. 鎌倉幕府が御家人同士の土地争いを公平に裁判するために、源頼朝以来の先例をまとめた。
- 問7 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 御成敗式目                      2. 一向一揆                      3. 尊王攘夷                      4. 下剋上
- 問8 室町時代の中期、浄土真宗（一向宗）を信仰する地侍や農民たちが強く団結し、加賀国（現在の石川県）の守護大名である富樫氏を倒す出来事が起こりました。この蜂起によって実現した、その後約100年にわたる地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 幕府に対して借金の帳消しを求める徳政一揆へと発展し、全国的な徳政令の発令を勝ち取った。                      2. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。                      3. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。                      4. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。
- 問9 室町時代から戦国時代にかけて、家臣が主君に打ち勝って実力を伸ばすなどの風潮が広がりました。このような下剋上の風潮の中で、戦国大名が家臣の行動を取りしめ、領国を独自に支配するために定めた法律を何といいますか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 公家諸法度                      2. 御成敗式目                      3. 武家諸法度                      4. 分国法
- 問10 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。                      2. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。                      3. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。                      4. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
- 問11 日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 生野銀山                      2. 富岡製糸場                      3. 足尾銅山                      4. 石見銀山
- 問12 大航海時代において、ポルトガルの航海者バスコ＝ダ＝ガマがインド航路の開拓に成功したことが、その後のヨーロッパ諸国に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 香辛料の直接取引が可能になり、それまで地中海貿易で栄えていた都市が衰退した                      2. アメリカ大陸への植民地支配が終了し、交易の拠点がすべてアジアへ移った                      3. 宗教改革が始まり、キリスト教の布教を目的とした航海が中止された                      4. 大西洋を西に進む航路が否定され、すべての探検家がアフリカ経由を目指すようになった
- 問13 戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため                      2. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため                      3. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため                      4. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため